

第67期中間報告書

KONDO' TEC R E P O R T

2018年4月1日～2018年9月30日



コンドーテック株式会社

証券コード 7438

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第 67 期第 2 四半期（2018 年 4 月 1 日から 2018 年 9 月 30 日まで）の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2018年11月

代表取締役社長 近藤 勝彦

当第2四半期の連結経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、記録的な猛暑や自然災害に見舞われましたが、企業収益や雇用環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループ関連業界におきましては、公共投資は底堅く推移するとともに、設備投資は増加し、弱含んでいた住宅投資も概ね横ばいとなるなど受注環境は堅調に推移しておりますが、一部には材料の調達難や人手不足による物件の進捗遅れが解消されないなどの厳しい状況も存在しております。

このような状況のもとで、当社グループは自社製品の拡販、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こしなどの営業活動を展開するとともに、産業資材、鉄構資材、電設資材の各セグメントにおいて、商品調達機能の強化やユーザーニーズを的確にとらえた付加価値の高い製商品の開発・提供により事業拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 27,963 百万円（前年同期比 9.0%増）と増収になりました。

利益面につきましては、製造原価や仕入価格が上昇したものの販売価格への転嫁などにより、売上総利益率がほぼ横ばいとなったことに加え、販売費及び一般管理費の増加を増収効果で吸収した結果、営業利益は 1,878 百万円（同 12.8%増）、経常利益は 1,938 百万円（同 13.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 1,308 百万円（同 14.8%増）と増益になりました。

売上高
279億63百万円
(前年同期比 +9.0%)

営業利益
18億78百万円
(前年同期比 +12.8%)

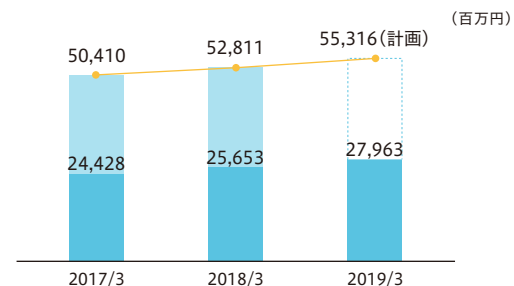
経常利益
19億38百万円
(前年同期比 +13.2%)

親会社株主に帰属する
四半期純利益
13億8百万円
(前年同期比 +14.8%)

FINANCIAL HIGHLIGHTS | 決算ハイライト

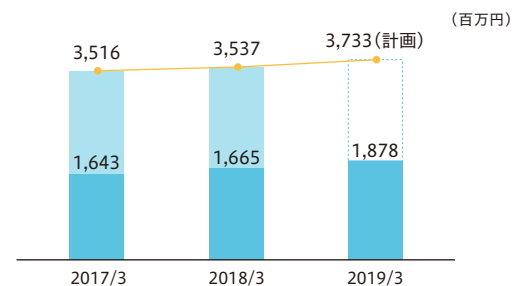
売上高

通期
第2四半期



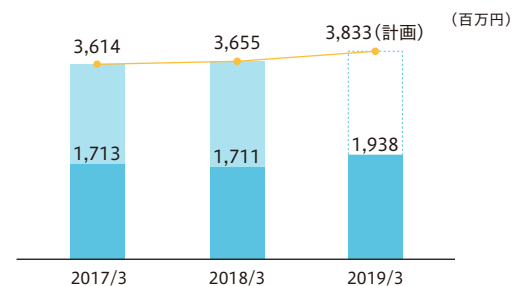
営業利益

通期
第2四半期



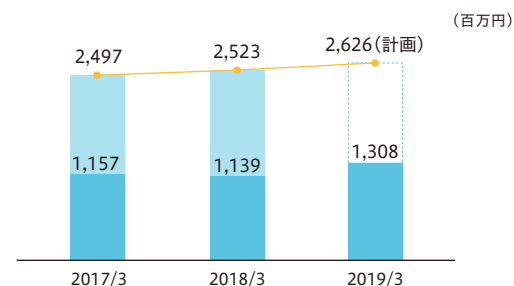
経常利益

通期
第2四半期

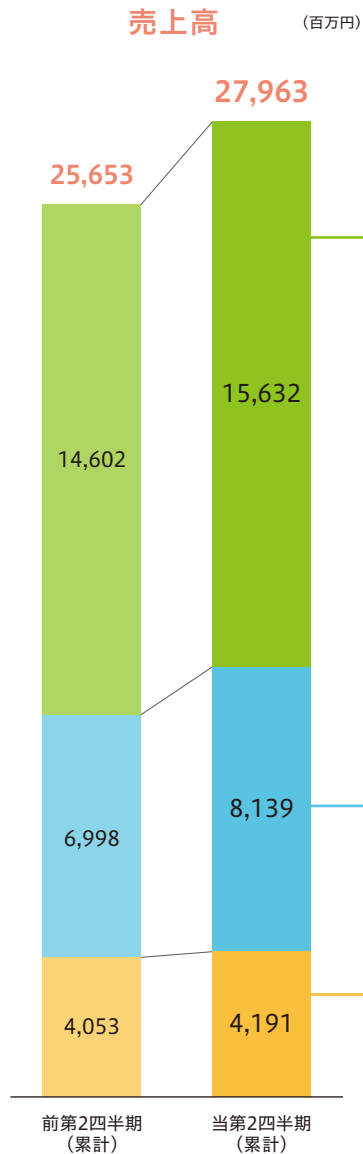


親会社株主に帰属する 当期純利益

通期
第2四半期



セグメント別業績



産業資材

156億32百万円(前年同期比 +7.1%)



国内建設市場は、民間・公共工事ともに底堅く推移し、建築・土木関連商材であるコンテナバッグ、ブルーシート・土のう袋、現場用品などが底堅く推移し、当セグメントの売上高は15,632百万円(前年同期比7.1%増)となりました。

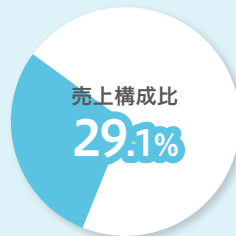
主な製品・商品

ターンバックル、シャックル、足場吊りチェーン、丸セパレーター、ワイヤロープ、コンテナバッグ 他



鉄構資材

81億39百万円(前年同期比 +16.3%)



インバウンド向けの宿泊施設、物流倉庫や工場などの中低層物件の旺盛な需要を受け、鉄骨部材、ブレース、アンカーボルト、鉚螺などが好調に推移し、当セグメントの売上高は8,139百万円(前年同期比16.3%増)となりました。

ブレース、アンカーボルト、ハイテンションボルト、ボルトナット類、鉄骨部材、施工工事 他



電設資材

41億91百万円(前年同期比 +3.4%)



売電価格の低下に伴い太陽光発電設備関連の需要が減少したものの、全国的な猛暑の影響を受けエアコン販売が堅調に推移し、当セグメントの売上高は4,191百万円(前年同期比3.4%増)となりました。

照明器具、空調機器、換気扇、分電盤、電線ケーブル、配線器具、エコキュート、太陽光発電機器、家電機器 他



通期の見通し

2019年3月期の連結業績予想

売上高
553億16百万円
(前期比 +4.7%)

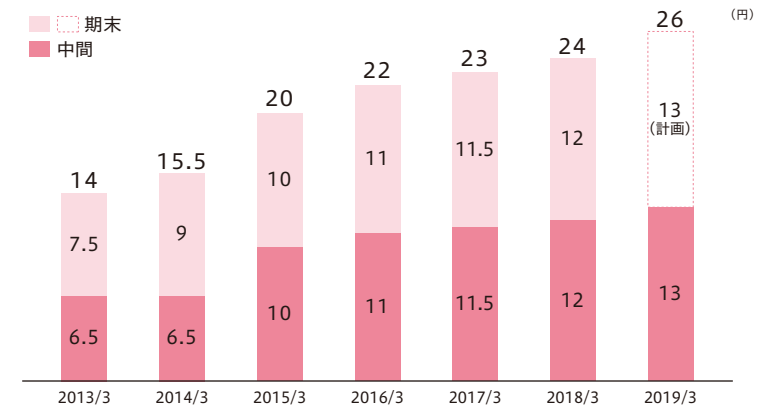
営業利益
37億33百万円
(前期比 +5.5%)

経常利益
38億33百万円
(前期比 +4.9%)

親会社株主に帰属する**当期純利益**
26億26百万円
(前期比 +4.1%)

配当金

当期配当(2019年3月期) **13円**
中間配当 **13円**
期末配当予想 **13円**



TOPIC 1 吊り具ブランドのイメージ向上

当社は「吊り具のコンドーテック」として、さらなる認知度向上を目指し、積極的に展示会に出展しています。

INTERMOLD2018 (開催地：ポートメッセなごや)

本年6月13日～16日に開催されました金型専門見本市「INTERMOLD2018」に出展いたしました。

当社ブースでは、金型や工作機械設備などの吊り上げ、移動に欠かせない吊り金具を展示いたしました。

さらに、吊り荷作業にお困りの方を対象とした、社内認定資格の「吊り具アドバイザー」による吊り具相談会を行いました。当相談会では、安全な吊り方に加え、作業効率向上となる吊り方の提案などを行い、賑わいを見せました。



第3回建設資材展 (開催地：東京ビッグサイト)



◀ブース内に吊り足場を再現・実演



本年7月18日～20日に開催されました建設資材見本市「第3回建設資材展」に出展いたしました。

当社ブースでは、当社製品をより知っていただくため、ブース内に実際の吊り足場を再現し、「足場吊りチェーン」の特徴の説明や、新開発の吊りチェーン調整用金具「吊りチェーンアジャスター」の実演を行い、来訪者の方々と交流いたしました。

TOPIC 2 IRフェア出展

本年8月31日・9月1日に、東京ビッグサイトにて開催されました個人投資家向けIRイベント「日経IR・投資フェア2018」に出展いたしました。

当社は今回、7度目の出展となりましたが、たくさんの皆様に足を運んでいただきました。

また、当社ブース内で行った当社社員によるミニセミナーでは、毎回立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。(写真右)

今後も個人投資家の皆様に向けた積極的なIR活動を展開していくことで、より一層の企業価値向上に努めてまいります。



TOPIC 3 滋賀工場 ISO14001 認証取得

当社の滋賀工場にて、新たに環境マネジメントシステム「ISO14001」の認証を取得いたしました。

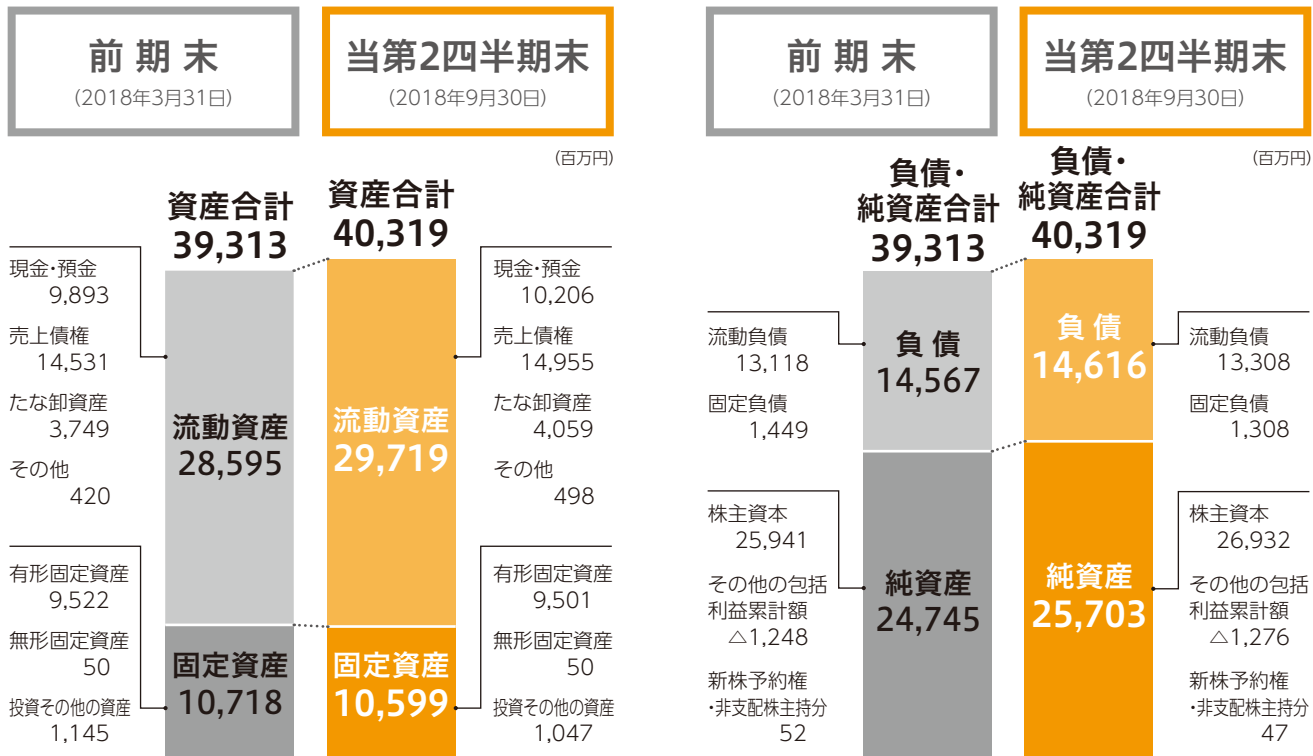
今後も当社は、持続可能な社会の実現のために、未来の環境価値を創造、共生し、環境との調和に配慮した事業活動に取り組んでまいります。



登録活動範囲	建設用、土木用及び仮設資材用金属製品の製造
登 録 日	2018年9月14日
審査登録機関	一般財団法人 日本品質保証機構 (JQA)
登 録 証 番 号	JQA-EM7455



四半期連結貸借対照表の概要



流動資産

前期末と比較して、流動資産が1,124百万円増加の29,719百万円となりました。
主な要因は、現金及び預金の増加並びに商品調達機能のさらなる強化に伴うたな卸資産の増加等によるものです。

固定資産

前期末と比較して、固定資産が118百万円減少の10,599百万円となりました。
主な要因は、減価償却による有形固定資産の減少及び投資有価証券の時価の下落等によるものです。

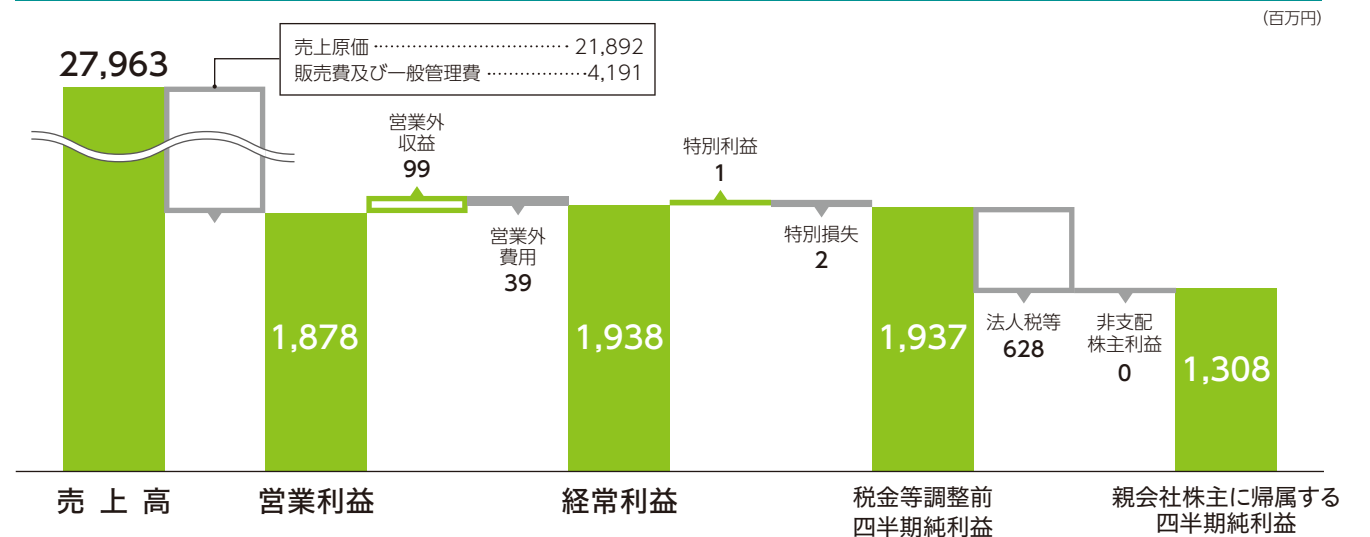
負 債

前期末と比較して、同等の14,616百万円となりました。
主な要因は、賞与引当金の増加等を主因として、流動負債が189百万円増加した一方で、退職給付に係る負債の減少等を主因として、固定負債が140百万円減少したこと等によるものです。

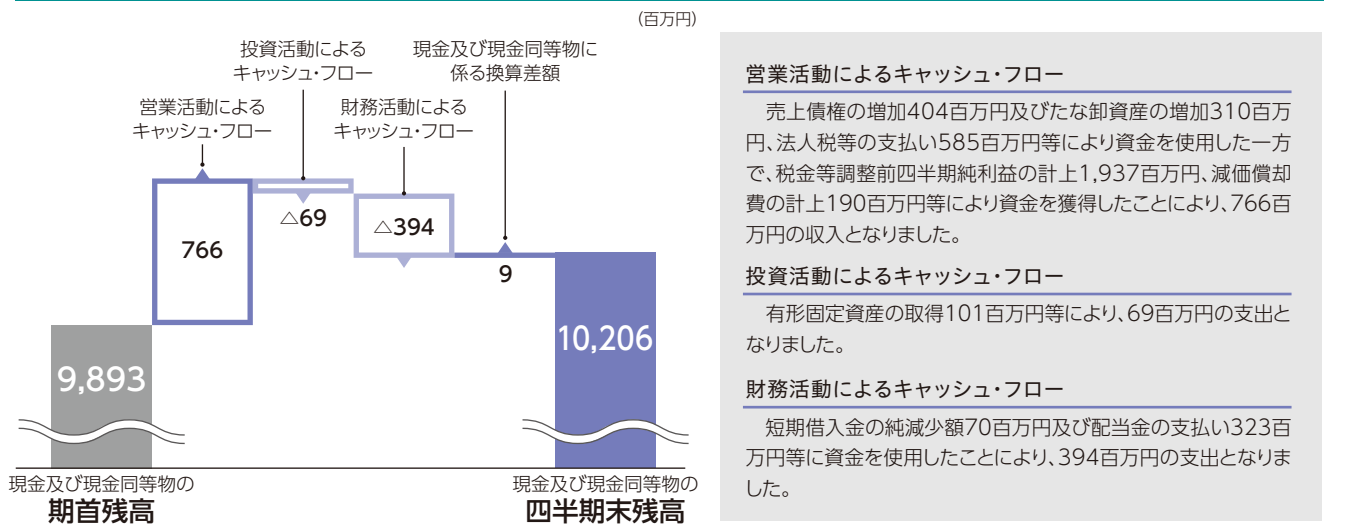
純資産

前期末と比較して、957百万円増加し、25,703百万円となりました。
主な要因は、剰余金の配当323百万円の支払いによる減少等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1,308百万円の計上による増加等があったことによるものです。

四半期連結損益計算書の概要

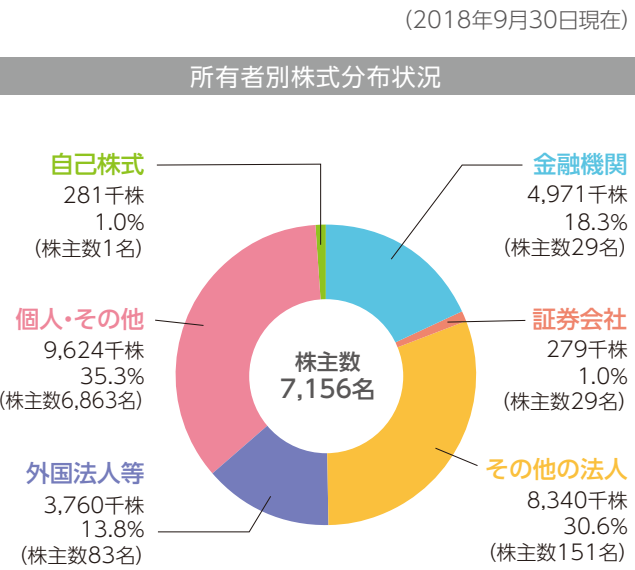


四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要



会社情報		CORPORATE DATA
会 社 概 要		
社 名	コンドーテック株式会社 (英文名 KONDOTEC INC.)	
本 社	大阪市西区境川二丁目2番90号 TEL 06-6582-8441 (代表)	
東 京 本 社	東京都江東区南砂一丁目9番3号 TEL 03-5634-2241 (代表)	
設 立	1953年1月14日	
資 本 金	26億6,648万5千円	
従 業 員	連結817名 単体672名	
連結子会社	三和電材株式会社 KONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) Co., Ltd. 中央技研株式会社	
株式情報		STOCK INFORMATION
株式の状況		
発行可能株式総数	60,000,000株	
発行済株式総数	27,257,000株	
単元株式数	100株	
大 株 主		
株主名	持株数	持株比率
有限会社藤和興産	3,014千株	11.2%
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,600千株	5.9%
コンドーテック社員持株会	1,289千株	4.8%
大阪中小企業投資育成株式会社	1,247千株	4.6%
日本ラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	986千株	3.7%
株式会社Fプランニング	900千株	3.3%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	789千株	2.9%
株式会社三菱UFJ銀行	753千株	2.8%
近藤 純位	752千株	2.8%
株式会社藤登興産	676千株	2.5%
(注)持株比率は自己株式を除いて算出しております。		

役 員		(2018年9月30日現在)
代表取締役社長	近 藤 勝 彦	
専務取締役	安 藤 朋 也	
常務取締役	平 田 茂	
取締役	矢 野 雅 彦	
取締役	鴫 泰 広	
取締役	矢 田 裕 之	
取締役	高 木 昭	
取締役(非常勤)	宮 晴 夫	
社外取締役	金 井 美 智 子	
社外取締役	大 和 正 史	
常勤監査役	西 田 範 夫	
社外監査役	村 辻 義 信	
社外監査役	中 川 雅 晴	



当社営業拠点・工場

(2018年9月30日現在)

★ 本 社

● 東日本営業部

● 西日本営業部

● 海 外 営 業 部

● 開 発 営 業 部

● 鉄 構 営 業 部

● 商 品 部

● 工 場 場 点

● 物 流 拠 点

札幌支店

札幌工場

青森営業所

秋田営業所

仙台支店

東北営業所

新潟支店

埼玉営業所

関東営業所

長野営業所

松本営業所

金沢営業所

滋賀工場

京都営業所

京滋営業所

兵庫営業所

神戸営業所

岡山営業所

広島支店

山陽営業所

九州工場

北九州営業所

福岡支店

九州営業所

長崎営業所

熊本営業所

鹿児島営業所

高松営業所

本社 商品部 業務部

大阪支店

海外営業部

ホームセンターグループ

鉄道環境グループ

eコマースグループ

関西支店

盛岡営業所

郡山営業所

福島営業所

関東工場

結城営業所

北関東支店

関東物流センター

八王子営業所

東京本社

東京支店

横浜支店

神奈川営業所

千葉営業所

東関東営業所

静岡営業所

東海営業所

浜松営業所

中京支店

名古屋支店

グループ会社

三和電材株式会社(本社 名古屋市西区) 営業所13ヶ所

KONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) Co., Ltd.(タイ・バンコク市)

中央技研株式会社(滋賀県犬上郡)

ホームページのご案内

個人投資家の皆様に当社をご理解いただくため、当社の事業内容や強みをご紹介します「なるほど!!コンドートック」をはじめ、さまざまなコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。

<http://www.kondotec.co.jp>

コンドートック

検索

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

[株式に関する住所変更等のお届出及びご照会]

証券会社でお取引をされている株主様

- 郵便物送付先・電話お問い合わせ先
お取引のある証券会社になります。
- ※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本店及び全国各支店でお支払いいたします。

特別口座に記録されている株主様

- 郵便物送付先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
- 電話お問い合わせ先 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
- お取扱店 三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店



2018年11月発行

コンドートック株式会社

当報告書には財政状態及び経営成績に関する将来予測の記述が含まれております。
この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれております。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



2017年より、統合報告書を発行しております。
当社ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



コンドートックは低炭素社会実現のための国民的プロジェクト「Fun to Share」に加盟し、環境問題に取り組んでおります。